

武雄都市計画緑地の変更（武雄市決定）

都市計画緑地中 1 号迎田緑地を次のように変更する。

種別	名称		位置	面積	備考
	番号	緑地名			
都市緑地	1	迎田緑地	武雄市武雄町大字武雄	約 2.8 ha	

「位置及び区域は計画図表示のとおり」

理由

迎田緑地は、江戸時代後期に旧武雄領主鍋島茂義公の別邸があった場所であり、武雄のまちのシンボルである御船山を借景として、竹や檜、桧などの珍しい種類が現存するほか、春の桜、ツツジ、シャクナゲ、竹林の新緑、秋の紅葉など四季折々の自然の美しさを堪能できます。

「文化の殿堂 西九州の応接室」として、昭和 50 年 5 月に開館した武雄市文化会館に隣接しており、市民の憩いの場として、昭和 51 年 8 月に都市計画に定め、昭和 55 年 5 月に供用を開始しています、

また、迎田緑地周辺は、令和 4 年 3 月に策定しました「武雄市都市計画マスタープラン」において、歴史・文化・スポーツ・レクリエーションゾーンに位置づけ、武雄市文化会館、武雄市図書館・歴史資料館、白岩運動公園など本市の個性と魅力が集約した環境の維持向上を図ることとしています。

「武雄市都市計画マスタープラン」や「武雄市文化のまちづくり構想」などに即し、文化の拠点である武雄市文化会館を新たに進化させ、機能向上を行うことで、周辺拠点との回遊性、賑わいと交流の向上を図るため、迎田緑地の区域を変更するものであります。